

令和5年度 栃木県立矢板東高等学校（全日制） 学校評価シート



教育目標 高い志を抱き、次代を力強く担うリーダーの育成

本年度の重点目標

- 1 深い教養、高い学力の育成
- 2 他者を思いやる心、社会貢献意欲の育成
- 3 心身の力強さと健やかさの育成
- 4 魅力ある学校づくりの推進

評価	
A 達成（満足）できた	…（80%以上）
B ほぼ達成（満足）できた	…（80%～50%）
C 十分とは言えない	…（50%～20%）
D 達成できなかった	…（20%以下）

学 校 自 己 評 価							学校関係者評価	
現状と学校評価実施概要					達成状況と評価			令和6年2月15日実施
評価区分	本校の現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	方策の達成状況	部分評価	次年度への課題と改善策	評価、意見等
1	・生徒は真摯な態度で真面目に授業に取り組むが、主体性がやや不足している生徒もいる。教員が創意工夫し、生徒の興味や知的好奇心を高めるような授業を展開することで、学力や意欲、主体性の向上につなげる。 ・課題を自ら発見し解決する力を伸ばさせるためにも、外部での発表の機会を充実させ、探究活動に主体的に取り組む意欲をさらに高める必要がある。	(1)教員の授業力の向上	①公開授業等と授業研究会を積極的に実施する。授業を参観し協議することで、お互いの授業改善につなげ、学校全体での授業力向上を図る。	①教員アンケート結果分析、授業研究会分析	公開授業週間や中堅研での公開授業や授業研究会を実施。教科を超えて教職員が参加。	B	・学校全体での授業力の向上のため、公開授業と授業研究会を継続して実施する。 ・生徒が主体的に授業に取り組むように、授業の魅力化を図る。アンケートや振り返りシートにより生徒の実態やニーズを把握し、教科ごとの授業研修会を実施する。 ・探究活動を充実させるための支援や指導法の改善を行う。外部団体主催のコンテスト等への更なる挑戦を促す。	・生徒にとって心身の充実が1番大切である。居心地が良いと回答している生徒が多いことは大変良いことである。これからも一人一人を大切にしたい指導をしてほしい。 ・中高一貫校の良さについては、在学中は良さを感じられなくても、卒業してから良さを感ずるかもしれない。早急に結果を求めなくてもよいと思う。
		(2)生徒の学習意欲と学力の向上	①授業の目標を明確にし、達成に向けて主体的・対話的で深い学びのある授業を実践し、生徒の知識・技能や思考力・判断力・表現力の向上を図る。	①教員・生徒授業アンケート結果分析、授業研究会分析	授業の工夫改善のための取組により、生徒の90%、保護者の72%、教員の95%が肯定的な回答。	A		
		②「総合的な探究の時間」を充実させ、知的好奇心旺盛な態度を育成する。さらに、外部団体主催のセミナーやコンテストなどへの積極的な参加を促す。	②教員・生徒授業アンケート結果分析、GST分析、生徒の参加状況と活動内容の分析	主体的な活動の充実により、生徒の81%、教員の98%が肯定的な回答。参加者数、発表数、参加コンテスト数が増加。	B			
2	・社会性やストレス耐性に未熟さがある生徒もいる。中高一貫教育のメリットを生かした体験活動等やキャリア教育をとおして、自立する際に必要となる判断力や実践力を身に付けさせる必要がある。	(1)中高一貫教育校のメリットを生かした教育活動の推進	①学校行事等において、異年齢集団による活動が効果的に実施できるよう、準備、実施、振り返りの各場面で中高の連携をより推進する。	①生徒の自己評価や学校評価アンケート結果分析	生徒の肯定的な回答が6割未満。中高一貫校の良さを多くの生徒が感じられない現状がある。	C	・企画・運営方法を工夫改善し、中高一貫校の良さを生かした生徒の主体性が育まれる行事を実施する。 ・進路関係諸行事等の充実により、生徒も自己理解が進み、進路について考える力が伸長するような進路指導を行う。	・中高一貫校では、中学生はその恩恵を感じる場面が多いが、高校生は恩恵を与える方の立場になるのでメリットを感じる機会が少ないのかもしれない。中学生のことを許容し一緒に考えながら物事を進めるといいのではないかと。
		(2)進路指導(キャリア教育)の充実	①生徒のキャリア発達にかかわる諸能力を高めるため、進路関係行事の実施や適切な進路情報の提供など、進路指導のさらなる充実を図る。	①生徒の自己評価や学校評価アンケート結果分析	進路指導の充実により、肯定的な回答が、生徒80%、教員97.4%。だが、保護者は74.1%と差異がある。	B		
3	・部活動加入率は高く、ホームルーム活動等にも積極的に取り組むが、自己肯定感があまり高くない生徒も見られる。よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的な態度を育てる教育活動が必要である。 ・生徒一人ひとりに対して組織的に支援し、教育活動全体を通じて心身ともに健やかで活力にあふれる生徒の育成が求められる。	(1)部活動の適正化と特別活動の活性化	①「部活動に係る活動方針」等に基づいた適正な部活動の運営を行うとともに、課題発見力や協働力などが高まるよう、生徒の主体的・積極的な活動を推進する。	①部活動の活動状況の検証、生徒の参加状況と活動内容の分析	新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、部活動が活発化。各部の活動方針に沿って実施。	B	・生徒の課題発見力や協働力が高められるよう、生徒が主体的・積極的に部活動等を運営できる体制づくりを行う。 ・よりよい人間関係を構築しようとする態度を育成するためにも、生徒会活動やホームルーム活動の見直しや改善を行う。 ・居心地の良い学校環境を作るためにも、発達支持的生徒指導に努める。いじめの未然防止のためにも、組織的なサポート体制を確立させる。	・生徒の自主性を生かした行事運営などをしてほしい。 ・進路については、保護者はより高いところを求めるところもある。本人に合った進路実現を支援していくのも大切な進路指導である。
			②自己実現の視点でホームルーム活動や生徒会活動を充実させることで、生徒の心身の健やかさと活力を育む。	②生徒の自己評価や学校評価アンケート結果分析	生徒が主体的に活動しているとの回答が、生徒80%、教員82%、保護者が75.1%。	B		
		(2)生徒の健全な精神の育成	①居心地のよい学校環境づくりを一層推進するとともに、定期的な個人面談等をおこなって生徒理解に努める。	①教育相談の実施状況、スクールカウンセラーの活用状況	丁寧な面談や教育相談の実施。さらに、SCへ繋げるなどの情報共有。	A		
			②教育相談体制のさらなる充実を図り、いじめの未然防止や生徒の悩み等の早期発見・対応に努める。	②いじめ認知件数、学校評価アンケート結果分析	「いじめの定義」に基づいた認知による組織的対応。生徒の肯定的回答が78%。	B		

4	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者の学校満足度は高く、教員は生徒と関わる時間を確保しているが、時間外勤務時間が少ない。 ・働き方改革を意識しながら教育活動を推進し、魅力ある学校の情報を積極的に発信するなど広報活動を一層促進する必要がある。 	(1)教員の「働き方改革」の推進	①担当する業務について、見直しや改善を図り、業務を精選し効率化を図ることができるようにする。	①超過勤務時間や年度末反省の検証	全体としての業務の見直しを進めたが、超過勤務時間が45時間を超える教員が減少せず。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務時間の削減に向けて、業務の見直しを更に進める。 ・円滑なコミュニケーションを図り、協働意識を高め、「チーム矢東」で業務に取り組む。 ・ホームページの充実を図り、保護者や地域に学校の魅力を発信する。 ・保護者や社会のニーズの把握に努め、適切な情報を提供する。
			②「チーム矢東」として教職員間のコミュニケーションや協働を大切にする。	②教員アンケート結果分析	他教員と協力して業務を進めているに対する肯定的回答が89.7%	A	
		(2)学校広報活動と情報発信の促進	①内容の更新を適時行い、ホームページの充実を図り、学校の情報を保護者や地域社会に発信する。	①ホームページの更新・閲覧状況、アクセス数	閲覧数は4月～12月で約25万件。校内で情報更新の推進。	B	
			②保護者や地域社会のニーズにあった情報を提供する。	①学校評価アンケート結果分析	肯定的な回答は63.8%。	C	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが非常に見やすくなった。記事もよく更新されている。どうすればもっと見てもらえるかは、今後さらに検討してほしい。 ・地域のニーズに合った情報とは矢板東の良さをもっと発信することだと思う。 ・働き方改革の観点からも、部活動の地域移行、外部指導者の導入を推進したらどうか。 					